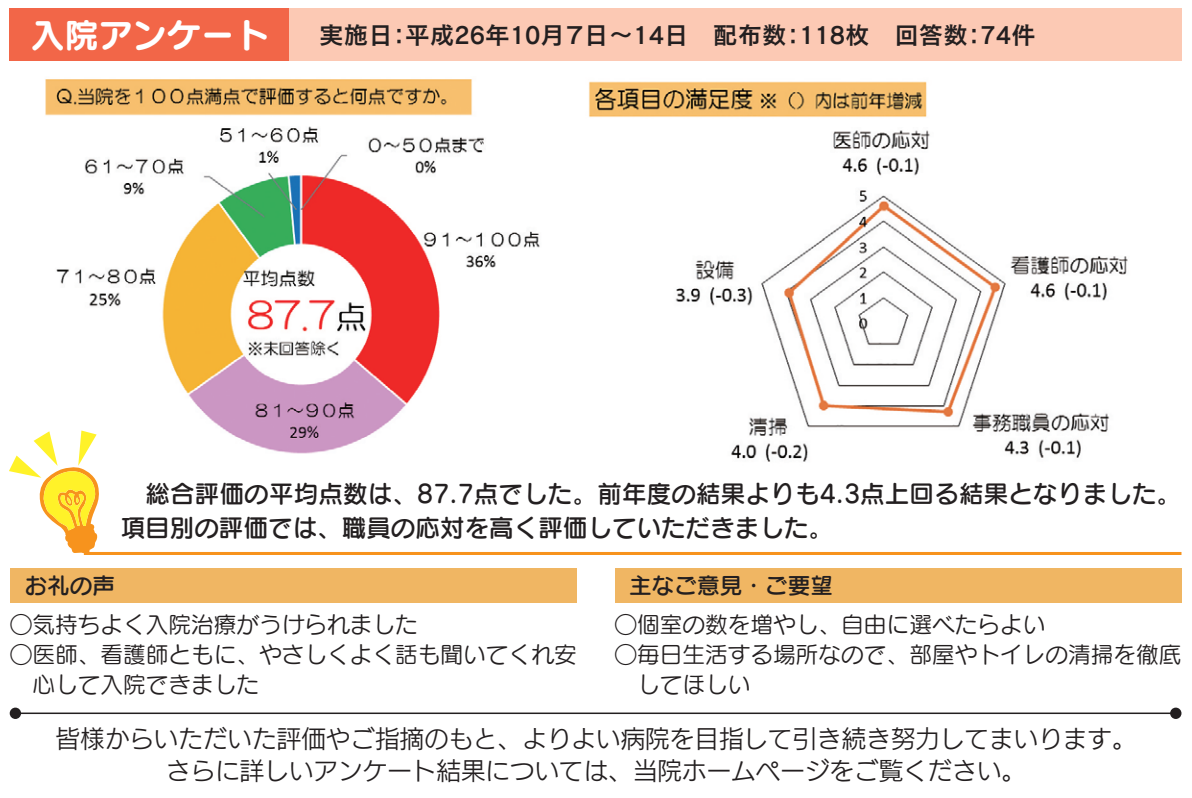
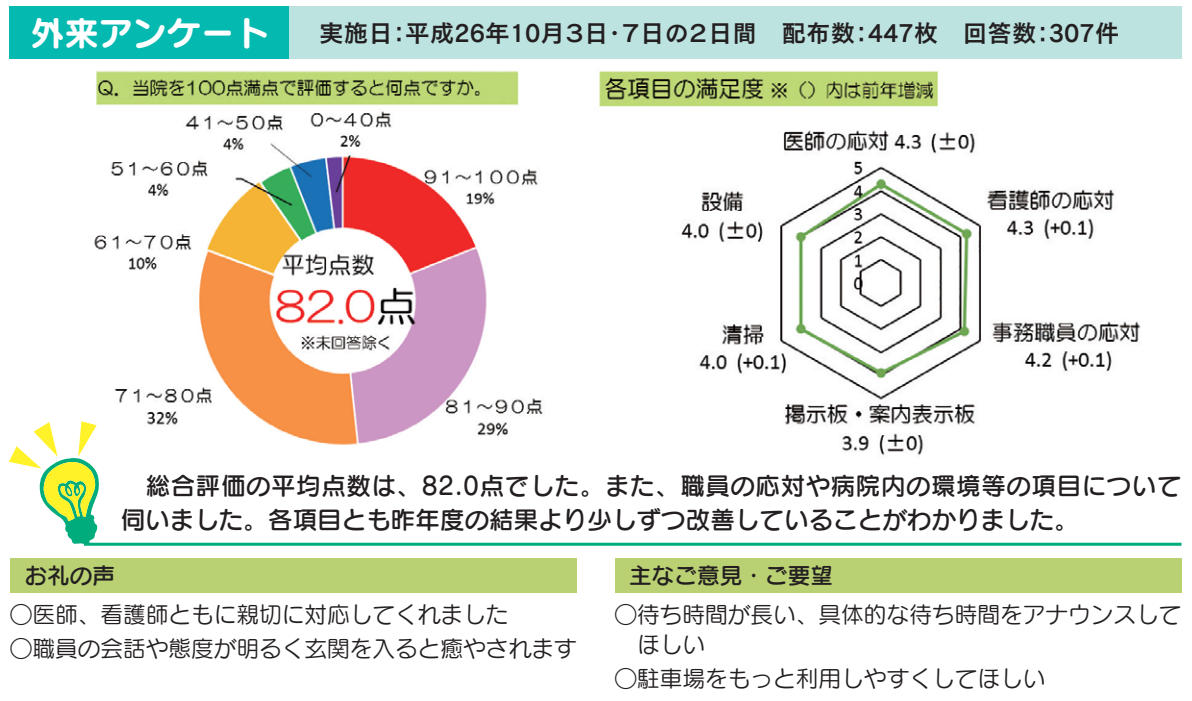


トピックス

病院アンケート結果のご報告

当院では、毎年患者さまに満足度調査を実施しています。昨年度の調査結果を下記のとおりご報告いたします。



ご意見箱から

毎回車いすを利用しております。診療を終了し帰るまでに、白い手袋が真っ黒になってしまいます。車いすの掃除はされていますか？毎回汚れるので気になります。

この度は、ご不快な思いをおかけし、申し訳ございませんでした。車いすの清掃に関して、改めて清掃担当者と話し合い、患者さまに快適に使用していただけるよう、院内の環境整備に努めて参ります。貴重なご意見ありがとうございました。（患者様相談室）

担当医が早口で、老人にはゆっくり話して欲しい。

この度は、ご不快な思いをおかけし、申し訳ございませんでした。患者さまには解りやすく、丁寧な説明をしなくてはいけないところ、ご指摘のようなことがあり大変残念に思います。今後、このような事のないように院内会議、研修会などを通じて、徹底を図っていきたいと思います。貴重なご意見ありがとうございました。（患者様相談室）

おほめの言葉

●痴呆症や寝たきりの患者さんの体拭きやおむつの交換をする介護の方々の大変さを知りました。患者さんと話しながらおむつ交換をしていて、患者さんは嫌がらず、大声を出さずびっくりしました。接し方ひとつでこんなに患者さんが言うことをきいてくれるんですね。介護士さんに感心しました。

ご意見をお待ちしております

何かございましたら、各階にございます意見箱をご利用ください。メールによるご意見もお待ちしております。
goiken@chubyoin.pref.ibaraki.jp

平成27年4月1日より産科外来がはじまりました！

♡「妊娠したかな？」と思ったら、まずは、下記までお電話ください
♡ 妊娠の検査・診断をおこないます
♡ 経過とともに定期妊婦健診を受けましょう
♡ 健診結果が母子ともに順調でリスクの低い分へんに対応いたします

ご予約・ご相談は、お気軽にお問い合わせください。

○外来電話予約センター ☎0296-77-5489
○産婦人科外来窓口

看護補助者募集 (ヘルパー2級保有者)

現在、嘱託職員を募集しています。

夜勤も含め、勤務部署・勤務日等は相談に応じます。お気軽に看護局までお問い合わせください。

あなたの「働きたい」をサポートします！

※質の高い看護と魅力ある職場づくりに努力しています。
※教育、研修、安全管理体制をしっかり整え、スタッフ全員で仕事と家庭の両立を支援します。

茨城県病院局 ☎029-301-6516
中央病院看護局 ☎0296-77-1121 (代表) 担当：海藤

ほっとタイムズ

2015年 春号 Vol.18

病気を知ろうQ&A
放置すると怖い おしっこの病気

院長メッセージ「新院長就任のごあいさつ」
ドクター紹介 脳神経外科部長 鯨岡 裕司
脳神経外科医長 片山 亘
トピックス
病院アンケート 結果のご報告
産科外来が始まりました

各科各部紹介
第4回 栄養科

院長メッセージ

ー第1回ー

「新院長就任の ごあいさつ」

私は、平成27年4月1日付けで、永井秀雄前病院長の後任として、茨城県立中央病院に赴任致しました。これまでは、筑波大学で医学医療系長、産科婦人科学教授、総合周産期母子医療センター長を務めておりました。専門は婦人科がん診療です。よろしくお願いします。

死角の1つであった産科診療については、この4月から産科外来を再開し、11月頃からは本格的に分娩再開となる予定です。まずは、ローリスクの分娩を対象にしますが、いずれ県立病院にふさわしい産科診療の再開に向けて引き続き努力していく所存です。また、産科再開とも関連して小児科は複数の常勤医による体制になることが決まっております。

当院は、地域がんセンターであり、「都道府県

茨城県立中央病院
茨城県地域がんセンター

病院長 吉川 裕之



がん診療連携拠点病院」でありますので、茨城県で唯一のがん診療基幹病院であります。手術、化学療法、放射線治療、緩和ケアにおいて中心であることは勿論ですが、未来の医療を創る臨床試験・治験においても中心的存在でありたいと考えております。

茨城県立中央病院は、医師、薬剤師、看護師に加え、助産師、診療放射線技師、臨床検査技師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、臨床工学士、診療情報管理士、医療ソーシャルワーカー、言語聴覚士、医学物理士、調理師・調理員、営繕員、裁縫員、電気、建築、事務など900名余の多職種職員によって支えられております。今後ともよろしくお願い致します。



病気を知ろう

Q&A

放置すると怖い おしっこの病気

Q：おしっこからわかる病気にはどんなものがありますか？

尿からそれぞれの成分が多く検出されると下記のような病気が考えられます。
白血球・・・感染のうたがいあり。膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎など
赤血球・・・尿路結石（膀胱、尿管、腎）や泌尿器がん（前立腺、膀胱、腎盂尿管、腎）、腎炎
糖・・・糖尿病
タンパク・・・腎炎等



Q：注意したいおしっこのサインはありますか？

最も注意すべきものは赤色の尿です。特に中高年の方で赤色の血尿があった場合、膀胱や腎盂尿管などのがんの可能性が高いからです。



Q：気になる尿漏れ・頻尿・残尿感は加齢のせいでしょうか？ 仕方がないことですか？

男性は、前立腺肥大症によるものが多く、投薬や手術を受けることで症状はかなり軽減されます。泌尿器科を受診しましょう。
女性の多くは、膀胱炎や過活動膀胱が原因です。服薬等により症状が軽くなる方がほとんどです。泌尿器科ないしは当院の女性コンチネンス外来の受診をおすすめします。

Q：泌尿器科の治療法はどんなものがありますか？

尿路結石：体外衝撃波やレーザー等による碎石術等です。結石の部位や性質により適切な治療法が選択されます。

前立腺肥大：前立腺の緊張を和らげる薬がまず使用されます。効果が不十分の場合は、前立腺を縮小する薬を併用します。それでも効果が無ければ、内視鏡下の切除術（レーザー等）が必要となります。

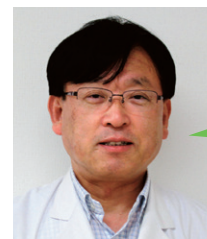
前立腺がん：がんが他の部分へ広がっていない場合、ロボット（ダビンチ）支援下全摘術ないしは放射線とホルモン療法の併用です。進行あるいは転移している場合はホルモン療法が選択されます。

腎がん：原則は切除術です。がんが比較的小さい場合、がんとその周辺のみ部分切除します。当院では部分切除をロボット支援下で行い始めました。

Q：おしっこの健康のために、日常生活で気をつけることはありますか？

脳卒中や心筋梗塞の予防のため、過度な飲水をしている方が多くいらっしゃいます。頻尿の最大の原因です。尿量は、個人差はありますが1日1.2～1.5リットルで充分です。ほどほどの水分摂取を心がけましょう。

また尿や排尿の異状は様々な病気のサイン。特に重大な疾患であるがんは、早期発見が大切です。おしっこがいつもと違うと感じたら、泌尿器科の受診をおすすめします。



副院長兼がんセンター長
泌尿器科
大谷 幹伸 医師
が答えました

金沢大学出身という事で、この春の北陸新幹線の開通を喜んでいます。専門は泌尿器がんですが、排尿障害の治療にも関わっています。

ドクター紹介



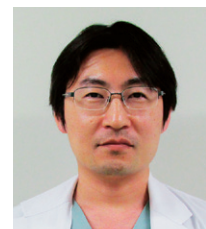
脳神経外科部長
鯨岡 裕司

医師になって28年、この病院に着任して10年が過ぎました。

最近、オランダ海軍の軍医ポンペ（1829－1908）の回想録である「日本滞在看聞記」を読みました。

「医師は自らの天職をよく承知していなければならぬ。ひとたびこの職務を選んだ以上、もはや医師は自分自身のものではなく、病める人のものである。もしそれを好まぬなら、他の職業を選ぶがよい。（ポンペ・ファン・メールデルフォールト）」

今の医療事情に鑑みれば、若干アナクロニズムの排りは免れないかもしれませんが、ポンペが医学生に送ったこの言葉の意味を自分なりに考え、日々の診療を振り返ることができればいいかなと考えています。



脳神経外科医長
片山 亘

当院の脳神経外科に赴任して3年目のシーズンとなる片山 亘と申します。主に脳血管障害や脳腫瘍（転移性脳腫瘍や良性腫瘍）、頭部外傷などの治療に従事しています。

脳卒中の予防として血圧・コレステロール・喫煙・肥満・糖尿病などの生活習慣病の管理が重要となりますが、一度脳卒中を発症すると、重篤な後遺症を残してしまうことがあります。すみやかな治療開始により脳機能を回復できることもあり、脳障害を自覚したらずぐに来院されますようお願いいたします。

脳神経外科領域における安全で質の高い医療、また発症早期からのリハビリ・栄養管理などのチーム医療を展開していけるよう努力してまいります。

各科各部紹介 第4回 栄養科

「お食事をおして患者さまの健康をサポートします！」

入院患者さまから「食事が唯一の楽しみだから…」という声をよくいただきます。病気によっては、食事制限が必要になる場合があります。栄養科では、制限があっても美味しく召し上がっていただける食事を目指しています。エネルギー塩分制限食やたんぱく制限食、術後食など様々な食事療法を退院後も継続していただけるよう、栄養指導や病棟訪問を行っています。



○業務内容

給食業務、栄養ケア、栄養指導（個人・集団指導）、NST活動など

○スタッフ

管理栄養士8名、栄養士5名、調理師・調理員24名です。



ホームページが
開設されました！

栄養科をはじめ、院内5科で構成される医療技術部のページができました。
ぜひご覧ください！
<http://www.hospital.pref.ibaraki.jp/chuo/archives/gijyutu/index>